



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年2月7日
東

上場会社名 南総通運株式会社 上場取引所
コード番号 9034 URL <https://www.nanso.co.jp/>
代表者(役職名) 代表取締役社長(氏名) 今井 利彦
問合せ先責任者(役職名) 執行役員管理部部長(氏名) 田中 英之 TEL 0475-54-3581
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	12,248	3.7	1,644	3.6	1,651	4.8	1,178	△11.6
2024年3月期第3四半期	11,808	8.2	1,588	28.6	1,575	27.5	1,333	58.9

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 1,157百万円(△14.3%) 2024年3月期第3四半期 1,350百万円(62.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	118.37	—
2024年3月期第3四半期	133.91	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	34,351	22,342	65.0
2024年3月期	35,177	21,663	61.6

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 22,342百万円 2024年3月期 21,663百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	38.00	—	23.00	—
2025年3月期	—	25.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2024年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。

2024年3月期第2四半期末の1株当たり中間配当金については、当該株式分割の影響を考慮しない金額を記載しております。株式分割を考慮する場合の2024年3月期第2四半期末の1株当たり中間配当金は19円になります。

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,889	2.6	1,993	1.8	2,004	2.9	1,418	△10.4	142.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期3Q	10,000,000株	2024年3月期	10,000,000株
2025年3月期3Q	41,488株	2024年3月期	41,458株
2025年3月期3Q	9,958,523株	2024年3月期3Q	9,958,578株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

(注)2024年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期中平均株式数」を算定しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(重要な後発事象)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、経済活動も回復基調となり企業収益が好調に推移するとともに、雇用・賃金の改善から個人消費の回復が期待される一方、ウクライナ・中東情勢の地政学的リスクに加え、中国経済の減速など先行き不透明な状況となっております。

このような経済情勢の中、物流業界においては、国内貨物輸送量の回復は見込まれているものの、エネルギー価格の高止まりや人手不足などによる支出が増加傾向となり、企業経営を取り巻く環境は厳しい状況で推移いたしました。

当社グループはこのような経営環境のもと、物流拠点を核としたトータルロジスティクスを中心にお客様にご満足いただける物流サービスをご提案・ご提供し、新規のお客様開拓、既存のお客様との取引拡大に積極的に取組むと同時に、お客様の物流の最適化にご協力させていただくべく、高い品質を伴う輸送や倉庫内オペレーションの効率化にも積極的に取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の営業収入は12,248百万円(前年同四半期比3.7%増)となり、営業利益は1,644百万円(前年同四半期比3.6%増)、経常利益は1,651百万円(前年同四半期比4.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,178百万円(前年同四半期比△11.6%減)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

貨物自動車運送事業

貨物自動車運送事業については、輸送業務の取り扱いが堅調に推移したことにより、営業収入は5,037百万円、前年同四半期比281百万円、5.9%の増収となり、セグメント利益(営業利益)は469百万円、前年同四半期比23百万円、5.2%の増益となりました。

倉庫事業

倉庫事業については、一部倉庫稼働率が上昇したことなどから、営業収入は3,323百万円、前年同四半期比109百万円、3.4%の増収となり、セグメント利益(営業利益)は1,062百万円、前年同四半期54百万円、5.4%の増益となりました。

附帯事業

附帯事業については、一部自動車整備関連が回復したことなどにより、営業収入は2,847百万円、前年同四半期比72百万円、2.6%の増収となり、セグメント利益(営業利益)は200百万円、前同四半期比34百万円、21.2%の増益となりました。

不動産事業

不動産事業については、一部賃貸物件稼働率が減少したことなどにより、営業収入は669百万円、前年同四半期比△81百万円、△10.8%の減収となりましたが、セグメント利益(営業利益)は474百万円、前年同四半期比20百万円、4.4%の増益となりました。

建設事業

建設事業については、完成高が減少したことなどにより、営業収入は293百万円、前年同四半期比△342百万円、△53.9%の減収となり、セグメント損失(営業損失)28百万円(前年同四半期は5百万円の営業利益)となりました。

その他

その他事業については、旅客自動車運送事業の稼働が落ち込み、営業収入は269百万円、前年同四半期比△0百万円、△0.3%の減収となり、セグメント利益(営業利益)は5百万円、前年同四半期比△0百万円、△9.0%の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて△12.3%減少し、6,946百万円となりました。これは、現金及び預金が1,052百万円減少したことなどが要因であります。固定資産は、前連結会計年度末に比べて0.5%増加し、27,404百万円となりました。これは、建設仮勘定の増加及び資産減価償却による減少などが要因であります。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べて△825百万円減少し、34,351百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて△17.7%減少し、4,571百万円となりました。これは、短期借入金が△337百万円、未払法人税等が△298百万円それぞれ減少したことなどが要因であります。固定負債は、前連結会計年度末に比べて△6.6%減少し、7,437百万円となりました。これは、長期借入金が△537百万円減少したことなどが要因であります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて△1,504百万円減少し、12,009百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて679百万円増加し、22,342百万円となりました。これは、主に親会社株主に帰属する四半期純利益が剰余金に計上されたためであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、予想通り推移していることから2024年11月7日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,765,958	4,713,510
受取手形及び営業未収金	1,761,003	1,727,226
電子記録債権	281,101	310,330
その他	114,199	195,914
貸倒引当金	△95	△100
流動資産合計	7,922,167	6,946,881
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,044,565	8,558,717
土地	15,600,514	15,600,175
建設仮勘定	985,356	1,715,062
その他（純額）	471,302	498,550
有形固定資産合計	26,101,738	26,372,505
無形固定資産		
投資その他の資産	71,236	61,738
投資有価証券	531,635	476,630
繰延税金資産	370,409	313,614
その他	204,341	204,594
貸倒引当金	△24,230	△24,130
投資その他の資産合計	1,082,156	970,709
固定資産合計	27,255,131	27,404,954
資産合計	35,177,299	34,351,835
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	502,175	504,385
短期借入金	1,649,360	1,312,028
1年内返済予定の長期借入金	766,250	722,132
未払法人税等	475,747	177,629
賞与引当金	342,860	135,330
その他	1,817,190	1,720,376
流動負債合計	5,553,583	4,571,881
固定負債		
長期借入金	6,908,744	6,371,195
退職給付に係る負債	366,284	386,996
その他	685,199	678,953
固定負債合計	7,960,227	7,437,145
負債合計	13,513,810	12,009,026

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	538,500	538,500
資本剰余金	497,585	497,585
利益剰余金	20,397,724	21,098,496
自己株式	△15,188	△15,222
株主資本合計	21,418,621	22,119,359
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	244,847	223,427
その他の包括利益累計額合計	244,847	223,427
非支配株主持分	19	20
純資産合計	21,663,488	22,342,808
負債純資産合計	35,177,299	34,351,835

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年12月31日)
営業収入	11,808,223	12,248,329
営業支出	9,627,058	9,939,612
営業総利益	2,181,165	2,308,716
一般管理費		
役員報酬及び給料手当	291,353	327,214
賞与引当金繰入額	6,300	7,010
その他	295,305	329,813
一般管理費合計	592,958	664,038
営業利益	1,588,206	1,644,678
営業外収益		
受取利息	416	478
受取配当金	10,667	10,754
保険配当金	2,391	380
助成金収入	6,065	7,003
共済解約手当金	-	9,600
車輛売却益	2,782	3,290
その他	7,475	17,458
営業外収益合計	29,799	48,964
営業外費用		
支払利息	38,143	40,367
その他	4,559	2,095
営業外費用合計	42,703	42,463
経常利益	1,575,302	1,651,179
特別利益		
固定資産売却益	454,298	-
投資有価証券売却益	-	70,228
特別利益合計	454,298	70,228
特別損失		
固定資産売却損	86,239	-
特別損失合計	86,239	-
税金等調整前四半期純利益	1,943,361	1,721,407
法人税、住民税及び事業税	471,414	460,125
法人税等調整額	138,419	82,498
法人税等合計	609,833	542,624
四半期純利益	1,333,527	1,178,782
非支配株主に帰属する四半期純利益	1	1
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,333,525	1,178,780

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	1,333,527	1,178,782
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	17,399	△21,419
その他の包括利益合計	17,399	△21,419
四半期包括利益	1,350,927	1,157,363
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,350,925	1,157,361
非支配株主に係る四半期包括利益	1	1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動のあった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自2024年4月1日至2024年12月31日)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65号-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(重要な後発事象)

(自己株式の取得)

当社は2025年2月7日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法156条の規定に基づき、自己株式を取得すること及びその具体的な取得方法について決議いたしました。

1. 自己株式の取得を行う理由

株主還元の充実のための施策の一環として取得するものであります。

2. 自己株式の取得に係る事項の内容

- | | |
|---------------|---|
| (1) 取得する株式の種類 | 当社普通株式 |
| (2) 取得する株式の総数 | 600,000株(上限)
(発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合6.02%) |
| (3) 株式取得価額の総額 | 720,000,000円(上限) |
| (4) 取得日 | 2025年2月10日 |
| (5) 取得方法 | 東京証券取引所自己株式立会外買付取引(ToSTNeT-3)による買付 |

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収入及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	貨物自動車 運送事業	倉庫事業	附帯事業	不動産事業	建設事業	計		
営業収入								
顧客との契約から 生じる営業収入	4,746,057	3,214,475	2,774,392	—	57,805	10,792,730	269,013	11,061,743
その他の営業収入	—	—	—	746,480	—	746,480	—	746,480
外部顧客への営業収入	4,746,057	3,214,475	2,774,392	746,480	57,805	11,539,210	269,013	11,808,223
セグメント間の内部営 業収入又は振替高	9,912	—	158	4,005	578,514	592,590	1,498	594,089
計	4,755,969	3,214,475	2,774,550	750,485	636,320	12,131,801	270,512	12,402,313
セグメント利益	446,463	1,008,521	165,297	454,686	5,989	2,080,958	5,942	2,086,901

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、旅客自動車運送事業、保険代理店業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,080,958
「その他」の区分の利益	5,942
セグメント間取引消去	△11,304
全社費用(注)	△487,390
四半期連結損益計算書の営業利益	1,588,206

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収入及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	貨物自動車 運送事業	倉庫事業	附帯事業	不動産事業	建設事業	計		
営業収入								
顧客との契約から 生じる営業収入	5,027,175	3,323,772	2,847,071	—	116,944	11,314,964	267,925	11,582,889
その他の営業収入	—	—	—	665,439	—	665,439	—	665,439
外部顧客への営業収入	5,027,175	3,323,772	2,847,071	665,439	116,944	11,980,404	267,925	12,248,329
セグメント間の内部営 業収入又は振替高	10,634	—	179	4,005	176,585	191,403	1,680	193,084
計	5,037,809	3,323,772	2,847,250	669,444	293,530	12,171,808	269,605	12,441,413
セグメント利益又は損 失(△)	469,623	1,062,984	200,284	474,779	△28,457	2,179,213	5,406	2,184,620

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、旅客自動車運送事業、保険代理店業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,179,213
「その他」の区分の利益	5,406
セグメント間取引消去	14,524
全社費用(注)	△554,466
四半期連結損益計算書の営業利益	1,644,678

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	767,688千円	797,396千円